京城日報
夕刊 四月一日(日)
編輯兼發行人 吉見 印刷人 小川三之介
京城府太平通一丁目 發行所 合資會社 京城日報社
【皇紀二千五百九十四年】 昭和九年四月二日 京城日報 (日刊) (第三種郵便物認可) 第九千四百六十三號

すき燒 鳥料理 水炊 喜久家 本町二丁目喜樂館横 電本三八〇番

けさ坐漁莊に於る 注目の會見内容
首相の意中披瀝に對し 西園寺公が之を激勵

西園寺公 ◇ 齋藤首相

【興津電話】今後の政局動向の推移を決すべきものとして、その成行を注視されてゐる齋藤首相と西園寺公との會見は、豫定の如く一日午前十時興津坐漁莊に於て行はれた。この日齋藤首相は入間野祕書官帶同靜岡縣警察部長の自動車にて靜岡驛前大東館を出發、春雨降りしきる中を興津に向ひ午前九時五十分坐漁莊を訪問、直ちに應接間に於て西園寺公と對座し齋藤首相は一年の久濶を謝し

その後に於ける政府の國際外交方策につき、聯盟脱退以來之が善後策として對露、對英、對米方針として協調的工作を遂行すると共に、五相會議に於て國防外交、財政の調整を圖とし一九三五、六年の國際危局に對應すべく決意し之が方策を講むべき言を述べ

滿洲國帝政實施と帝國の對滿政策、日滿經濟統制、最近の滿洲國の發展狀況等を說明し、次いで第六十五議會の經過と議會に反映する政黨及貴族院の動向、軍部の情勢、一般政情等に就て詳細說明報告し

荒木、中島、鳩山各閣僚更迭の內面的事情をも詳述し

西園寺公の諒解を求めたる後現內閣成立後既に二ケ年に垂んとしてゐる、この間に於て政府は五・一五事件善後處理、人心の安定、對滿諸方策の實現、財政の調整、國防豫算の成立、農村匡救、選擧法改正等不滿足ながら一應現內閣の使命を果したるも微力で上下の滿足を得ず人心既に去り世上亦倦怠を感じてゐることは深く自覺してゐるので、適當の機會に善處したき との意中を述べ老公の考慮を求むる處あつたが、之に對し老公は時局の重大にして寧ろ問題は今後に存し一九三五、六年の危機を目睫に控へ、この際政局に動搖を招來するが如きは由々しき問題で、從來通りの方針を以て時局擔當の任に當つて行くべきであると共に、當面の問題たる閣僚の補充についても時日を遷延するに於ては危機を生む虞れがあるのでなるべく速かに所信を斷行し之に當るべき旨を述べて首相を激勵し、種々懇談を交へて會談一時間餘にして同十一時辭去し大東館に引揚げ、晝餐後午後一時四十分靜岡驛發列車にて歸京の途に就いた

"從來の方針通り やつて貰はねば" 老公はさう言つて居られた
會見內容に就いて 齋藤首相語る

【興津電話】齋藤首相は西園寺公訪問後午後零時十分靜岡驛前大東館に引きあげ、會見の內容につき極めて明かに左の如く語つた

西園寺公 の健康はこの前に御目にかゝつた時と同じく非常に元氣であつた、何しろ一年振りで御目にかゝつたので話が色々と重なり時間がかゝつたが政府の報告や說明の材料は書面に纏めてこんなに澤山持つて來たがこれを十分御話する暇がなかつた程である。議會で通過した法律案や九年度豫算やこれからやつて行かねばならぬ種々の政務の實行につきよく御話して御諒解を得て置いた、文相の補充は總理としてやらねばならぬことで何も老公に御相談したり勞を煩はしたりすべきでない、私は自分のやるべきことは自分の考へでやつて行く方針である

後任文相 の補充については取急ぎ鈴木總裁に會ふ考へはないが、議會も濟んだことだから近いうちに一度お目にかゝらうと思つて居る、高橋、山本兩長老には歸つてすぐ伺ふやうな必要もない、補充はそのまゝにして置く譯にも行かぬのでなるべく早くやる考へである

私は政局 をこのまゝ擔當して行くことは今更事新しく言ふまでもないことだ、老公も一生懸命從來の方針通りやつて貰はねば困ると言つて居られた

政黨の現狀についてはかねがね心配して居られるので大變心配されてゐるが、議會によつて政黨もやゝよくなつて來たが間もなく瀆職事件が起り自分も裏切られたような感じがしたが困つたものである 立憲政治 議會政治はどうしても政黨に俟たねばならぬ、ファッショとか右翼とか言ふことには絶對に贊成出來ない

政界革新 のために選擧法改正をやつて見たが議會があゝいふ風でどうも思ふ樣には行かない、解散をやつたらどうかと言ふ人もあるが解散をやる樣な狀態になれば勿論斷行する、然し國論に進行してゐる場合に解散なんて出來るものでない

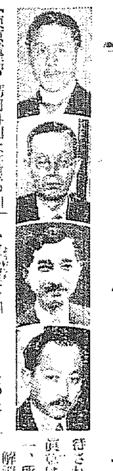
米の問題 は實に困つた問題であるがどうしても理解ある人々の考を纏めて調査會を開きよく考へてやるべきで、目下その準備中である、政策は是が非でもやれと言つてゐるが目當がなくては開く譯には行かない

小山法相 の問題は私も色々心配して聞いて見たが余り言ひ掛りで何も無いとである網(?)問題に就てもよく聞いて見たが大したものではないようだ、併しよく調べて事情を明かにしなければならぬことは勿論である

外地米生產費の 審議會を設置
協贊を經た追加豫算で

【東京電話】米穀問題に關する重要懸案として審議すべき政府の米穀審議會は、齋藤首相を會長とし高橋、後藤、永井の三相を副會長として早晩設置されるが、第六十五議會に於て內地米に比較して不當に高價なりとして論難された外地米の生產費に就いては、政府今後の米穀政策上にも密接なる關係を持つ點より朝鮮一千、臺灣六百圓を共に追加豫算として協贊を經たため右豫算を基礎として實質的調査の方法其他に關して可及的速かに具體的調査を進める筈である、而してその實行方法に關しては勿論外地の特殊事情を斟酌して行はれるは當然なるべきも、なほ米穀問題は內外共通の問題なるに鑑みこの際特に米穀審議會と共に、生產費のみに關する審議會を設置することに決定した、その規模並に審議會委員等の範圍については今後農林、拓務兩省間に於て折衝決定する筈であるが、大體政府としては農林、拓務兩省、朝鮮、臺灣兩總督府關係官を網羅することゝなるものと見られて居る

新外交工作に關し 個別的に重要協議
有吉、齋藤、佐藤の各大公使に 外相が五月歸朝を命ず



【東京電話】廣田外相は既報の如く、來る五月上旬有吉駐支公使を始め齋藤駐米、佐藤駐佛兩大使に逐次一旦歸朝を命じ、東京に於て個別的に我が國對外政策に關する重要協議を開くことゝなつた、今回の如く各大公使の歸朝を求め新外交工作に關し、協議を行ふことは、從來餘りにその例を見なかつたところでその結果は極めて期待されて居る、而して廣田外相の眞意は

一、所謂一九三五、六年の危機を解消せしめるためには、和平的外交工作の實施を最も必要とすること
一、新外交工作は相手國の實情に即して即ち適宜に遂行せられざるべからず、そのためには相手國の事情を詳細に知悉する必要あること
一、從つて今後の外交は個別的工作に依らねばならぬと共に、我が方としては一貫せる精神に基いて居らねばならぬ

といふ觀點より東京に個別的な大公使會議を開かんとするものである、則ち有吉公使に對しては

一、南京政府の對日方針の眞意と之に對する我方策
一、共產分子に對する方策
一、列國の對支政策の動向とこれに對する方策
一、滿支問題の打開に關する方策

又齋藤大使に對しては

一、一般的對米方針
一、極東殊に滿洲國問題に對する米國の政策の推移と之に對する方策
一、明年の海軍會議に對する準備的方策
一、比島問題
一、その他西太平洋の安全問題に對する方策

更に佐藤大使に對して

一、ヨーロッパ政局の動向に對する一般的方策
一、一般軍縮會議の將來とこれに對する方策
一、對日通商共同戰線の問題とこれに對する方策

等がそれぞれ重要問題として協議されるものと見られて居る(寫眞上から廣田外相、有吉駐支公使、齋藤駐米大使、佐藤駐佛大使)

米穀局長發令

【東京電話】農林省では今回米穀部を局に昇格せしめ四月一日より實施することゝなつたので同日米穀局長を左の如く任命發表した

正五位勳四等 荷見安
任農林省米穀局長(二等)

現內閣居据と 貴院の意向
自力更生を圖らねば 延命策も結局徒勞

【東京電話】鳩山、中島兩氏の辭任に依り現內閣は豫算の通過後、若くは議會終了後掛冠の已むなきに至るであらうと見られて居たが現下の情勢では現內閣の居据りは既定の事實と見られて居り齋藤首相の西公訪問に依り更に此の方針が明瞭化するものと見られるが貴族院有力筋の政府居据りに對する意向を綜合すれば

政府の言分では豫算案を初め重要法案五十件のうち四十八件が兩院を通過し稀に見る好成績を收めた、この際掛冠する如きは責任を解せざるものであると稱して居るが貴族院の諸案を通過せしめたるの所以のものは現內閣に全幅の信頼を寄せたるが故ではなく、現下の非常時局なるがためである、現內閣は誠に無氣力、この重大時局を擔當せしむるためには寧ろ頼りになき憾みがある

となすは貴族院の全面的の意向であるが、さりとて現內閣を倒壞せしめても後繼內閣に適任者が見當らず、依然第一次の組閣するとすれば軍部、政黨等の綜合的勢力よりして自然的に濃く現內閣の存續もやむを得ず認めねばならぬ、而して現內閣にして存續して行くならばこの際從來の態度を改めて、齋藤內閣獨自の立場より右顧左眄することなく、更新諸政策の根本的解決をはかり人心をして倦まざらしめんことを必要とする齋藤首相にして、この際內閣の自力更生をはかり固めるにあらずんば、如何なる延命策も結局徒勞に終るであらうとなしてゐる

東拓利下
斷行に決定す

【東京電話】東拓の朝鮮に於ける貸出總額は現在六千百二十三萬圓(利率年七分八厘)中に產米增殖貸出資金二千三百五十萬圓であるが、低金利時代の趨勢に應じ產業助成の趣旨徹底を期するため今回朝鮮殖產銀行とも協議の上利下を斷行することゝなり、一般貸出は五厘乃至三厘下の七分三厘乃至七分五厘、產米增殖資金は大體六分とすることになつた

東拓の對滿方策 委員會を續開

【東京電話】去る廿六日より七日間に亘り開催された東拓支店長會議は卅一日を以て一先終了したが右の會議に於ては既報の如く東拓としての對滿積極方策確立に關し、東拓高橋總裁に種々意見の交換が行はれその具體案をねるため更に委員會を續開することゝなつた

勞働會議に臨む わが方の態度
政府及勞資代表の一致が必要 日本勞組會議執行部の意向

【東京電話】本年六月ゼネヴァで開かれる國際勞働會議が、國際勞働時間にわたる勞働問題に對する我國勞働團體の態度、ならびに本年度勞働會議に出席する我國勞働代表の態度によつて、會議が如何に展開するかは問題の推移上延いては國際的紛爭を捲起す恐れさへあるので、その成行は注視されてゐる、右に關し勞働代表選出の母體たる日本勞働組合會議執行部の意向は、一部海外で誹謗されてゐる日本商品が所謂ソーシャル・ダンピングであるか否かについては外國側の認識で一概に否定することは出來ないといふ見解である、しかしながら對外的に本問題を有利に打開するためには政府資本家勞働者代表とも纏まつた意見をもつて會議に臨むべきである、かゝる立場から數日中に代表者を以て山本內相を訪問し勞働會議代表が出發するまでに政府及勞資代表者の懇談會を開き、國內產業における勞働條件の改善問題を審めて三者の間に隔意なく懇談し、出來る限り意見の一致をはかるべきであるとの要請をなすことゝなつたが、もし懇談會が實現されざる場合はやむなく勞働者側獨自の立場から組合會議案を作成し、その主張を兩代表等に授けることとなるであらう

東西南北

機械が人間から仕事を奪ふとて▲機械を呪ふ議論が盛んに行はれてゐる、昔の米國ブレーントラストの三羽烏の一人タグウェルは▲その明晳なる頭腦を以て過去の人類は總て必要に生活しやうとして▲過ぎ去る非常に努力もし又苦心もした▲そのお蔭で幾多の機械が發明されて▲今や多くの仕事が機械によりて仕遂げられるやうになつたから▲斯の如きは人類の久しく熱望したる境遇でこそあれ▲爲に嫌惡したり悲觀したりする謂れはないのである▲然るに多くの人々は久しく待望したる機械文明が折角到來しても▲徒らに狼狽周章して何等の爲す所を知らぬばかりか▲甚だしきはそれを詛うたり呪したりしてゐる▲機械は決して人間から仕事を奪うた譯ではない▲機械が一層多くその働き分野を擴大するやうになれば▲それだけ人間の活動する分野も彌々擴大されるやうにはなつても▲決して縮小される氣遣ひはない▲斯うした意見の下に彼は現代機械文明の完全なる讃頌を期待してゐる

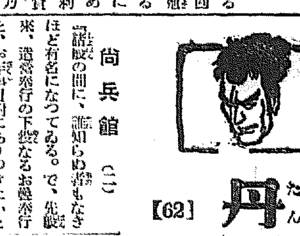
佛內閣官吏 減俸を決定

【パリ卅一日電通】ズーメルグ內閣は經費節減のため官吏俸給一割五分減を本日の閣議で決定した

日英政府會商 回答書手交
英の提案を待つもの

【ロンドン三十一日聯合】二十九日駐英大使館に到着した日英政府會商に關する帝國政府の回答書は、イギリス政府が贊同して待つてゐるので松平大使は復活祭明けを待たず、三十一日正午大使館邸に海外貿易管理官クロー氏の來邸を求め右回答を手交した、右回答はランシマン商相の提議に贊成し日本政府も纖維問題について愼重攻究中であるが、いまだ具體案を得ないとて具體案の提案を避け、イギリス政府からの提案を待たんとするものである

丹下左膳 【62】
林不忘 作 小田富彌 畫



尚兵館(二)

諸侯の間に、誰知らぬ者もなき有名になつてゐる。で、先般遺發發行の下數なるお墨奉行お作事目附にありつきたいと言つて――』

田丸主水正、道場の端に立つて居並ぶ者の一群へ向かつて演說をはじめた。

皆ゴソ〳〵起き上がつて、膝ぼけた顏を並べてゐる。

『ヘン、日光組下にありつき度いんぢやアなく、何とでもして潛れたいの一心で御座らう』

誰かゞ野次を飛ばした。

『ウム、言つてみれば、マア、その通り……で、各大名の使ひが數日來、當屋敷に詰めかけたことは諸君も知つてゞあらう。そいつらが、異口同音にこけ猿のことを訊くので、拙者も辛くなつてな。そこで一策を案じ、こけ猿によく似た贋物をさがし出して、日光一つの人々に、にせ猿の茶罐といふことにして伸ついて置いたのぢや。この謀略は圖に當り、あちら、こけ猿は公儀の手へ渡つたものと思つて、誰びを運べて行つたが、わしの心苦しさは増す一方ぢや。最早や如何なる手段を講くしても、眞のこけ猿を手に入れねばならぬ』

『いや、その儀なれば、御家老のお言葉を待つまでもなく――』

喜多川頼母が、腕をポリ〳〵搔きながら言ひ出すのを、主水正は叱咤して。

『各々方は、一體何しに江戸表へ來られたのぢやッ!大寶を埋めある場所を示した祕密の地圖、その地圖を封じこめたこけ猿の茶罐。その茶罐を發見せんがためでは御座らぬかッ。然るに、毎日、三三五々隊を組んで市中を見物――』

『あいや!如何に御家老でも、その一言は、聞き捨てになりませぬ』

起ち上がつたのは、情熱家の井上近江だ。

『われ〳〵一統の苦心も買はれずに、何を言はれるかッ!』囂々たる聲が、四方から起つて、『相手の正體がはつきり判つてこそ、貴人の趣味は證揮される。古びた器一個、この八百八町に消えてしまつたものを、如何にして探し出せばよいか、拙者らはその方策に困じ果てゝゐる始末』

『のみならず、寸分違はぬ贋物が、あちこちに幾つとなく現れてゐるし……』

『これと思つて手に入れて見ればみな贋物』

『御家老も、そのにせ猿が一つられたといふではないか、ハッハッハ』

『田丸様、こんな厄介なことゝは夢にも思ひませんでした』

『毎日々々當てどもなく、江戸の風に吹かれて歩くだけで、何時どう手繰つて行けばよいやら』

ワイ〳〵いふのを、高大之進は『[illegible]くなッ』と、一喝に制して、『とは言ひますものゝ、田丸先生、拙者も一同ともに泣き言を並べたいくらゐぢや。かやうなやゝこしい仕事は、又となからうと存ずる』

主水正は聲を勵まし、

『左様なことを申して困つては、果てしがない。君公のお贊ぢや。御前のためぢや。日限を切り申さう。向う一ト月の間に、是が非でも、こけ猿を入手して頂き度い』

『ナニ、向う一ト月のあひだに?』

さう、大之進が訊き返した途端、主水正を押し退けるやうにして、道場の入口から馳け込んで來た二人の人影……安積玄心斎と谷大八が、狼狽てふためいた聲を合はせて、

『若君源三郎様は、コ、こちらに參つておいでではないか』

總督夫人 漸次快方

新春以來病臥中であつた宇垣總督夫人は昨今漸次快方に向ひ、遠からず全快に至るであらうと

米日小高

【ニューヨーク三十一日聯合】本日の米日爲替は前日より十二セント高の三十ドル三十七セントとなつた

高血壓・腦・胃腸 力心(リキシン)・獨特の効果 今津佛理博・皇漢藥より採取

鴈治郎の弘法大師

ヒステリー、慢性胃腸病、消化不良、脚氣、常習便秘、病後の恢復、性慾減退、頭腦の故に肺、肋膜、喘息などはイマヅミンと力心とを併用すれば兩方から早く良くなる。

神經衰弱で勉強が出來なかつた大學生がよく出來る樣になつたり、血壓が高くて困つてゐた人が良くなつたり、食慾の殆どなかつた肺結核患者に食慾がついて來た事などの實例で効果の一端が判る。

精の成分は醫學上、人體の細胞を更生健全にして血壓を下げ、腦、胃腸、肺を強壯にして抵抗力を增し、老衰を防ぐ事は、醫學上の定說である。今回製藥の發明で、有名な今津佛國理學博士は今迄の醫士と力を併せて、苦心研究の結果、精の貴重なる成分を純粹に採取し、これを主劑として、白米を常食とする本邦人に必要な ビタミンB を多量に配合せる新良藥リキシンを創製した。

(今津博士から說明を聞く 成駒屋一家)
今津佛國理學博士・中村鴈治郎夫・中村芳子氏・林長三郎夫

血壓亢進、神經衰弱、疲勞、試驗勉強、二日醉などに 獨特の貢効

無料相談 病氣は養生法が大切なので大阪市の今津研究所に行けば、博士は懇切に養生法を說明されるが、遠方の人は書面にて照會するがよい。

全國有名藥店にて販賣。品切の節は大阪市東區本町三、今津化學研究所へ申込。

今津佛國理學博士發明
◎世界到る處 効力無敵の 虫とり藥
液体殺虫劑とは 効力段違ひ
▲蠅ばかりでなく どんな虫でも わけなく全滅
四季を通じて衛生上 各家庭にぜひ必要
人畜無害 イマヅ 蠅取粉 効力無敵
便所くさみ止 イマヅ芳香油
農作物の害虫驅除劑 イマヅ殺虫劑
大阪市大仁本町二丁目 株式會社 今津化學研究所
▲到る處の商店に有▲
◎說明書無代進呈

猛然、襲ふ大虎
猪狩りの一隊仰天
槍を揮つて突き進み "昭和の清正"は重傷す！
マルガ實演 平北崇正面で

【新義州特電】久しぶりに虎の出現！、平北寧邊郡崇正面只山洞宋珍顯（三）ほか十一名は、同面復興洞との境界をなす山に猪十數頭が棲んでゐて、附近の田畑を荒し被害も甚大に上るので猪狩りを企て卅日午後二時ごろ手に手に槍をたづさへ同山に向つた、山頂近く登つた時、突然宋の前方約五間のところに身長六尺餘の虎が忽然とあらはれ、アッと思ふ間もなく宋に襲ひかゝつた、宋は逃げるに逃げられず、かくなる上はと槍で突き向つたが、不幸にも突き損じ、前頭部より後頭部に達する長さ六寸、深さ二分五厘、及び右胴部に長さ二寸深さ一分の爪傷と左腕上膊部に扇形六ヶ所の咬傷を負ふた、虎はそのまゝ飄然と立ち去つた、宋は重傷ながら生命は取止める見込みである

戀の二人、半殺し
東京明月館主人や妓生まで寄つてたかつて！

【東京電話】東京赤坂山王下の朝鮮料理明月館に去る二十七日午後十時突如赤坂署の正服警官十數名が來り同館主金安基（三）の夫妻、支配人小林徳治を始め同館の朝鮮妓生、コック、女中、雇傭人等二十四人につき嚴重な訊問を行ひ二十八日午前四時になり館主金及び小林、雇傭人安巨福の三名を赤坂署に留置し殺人未遂罪として取調べて居る、事件は昭和七年三月明月館神田支店の元會計係韓通東（三）が同館の妓生明月（三）と戀仲となつたのを金館主以下が憤激し、山王下の明月館に呼び寄せたので韓は友人金某とやつて來たところ金館主等は兩名を同館の柱の間に誘ひ入れ、金館主外妓生、コック等二十名が兩名を亂打し假死の状態に至らしめたといふ事情が判明したので、當局は之れにより更に他の某重大事件に波及するものと睨み東京地方裁判所大内檢事指揮の下に大活動を續けて居る

九千の失業者示威行進

【シカゴ卅一日電通】シカゴの失業者九千名は卅一日隊伍を組み手に手に赤旗を持ち失業状態の惡化に對する示威行進を行つた

馬賊襲來 ピストルで脅し拉致

【安東縣特電】平北楚山郡長士面湖下洞の滿洲人劉某方に對岸臨江縣内から系統不明の馬賊三名現れピストルを擬して脅迫し同人二男某（二）を拉去し對岸に逃走した、急報に接した中江署は坂本警部補か六名を現場に急派し一方中江守備隊は後藤少尉以下八名が一日朝六時對岸に出動した

電車とトラックの衝突！
電車客總倒れ—二人負傷す

三十一日午後十一時十五分頃仁川府海岸町三の一京仁貨物自動車トラックを金英培（三）が運轉して歸仁の途中京城府岡崎町七一番地先電車線路を横斷せんとする際、後方から進行して來た元町行電車（車掌康良鉉、運轉手崔判植）がブレーキをかけたが及ばず激突して運轉臺を大破した。これが爲乗客は將棋倒しとなり府内大島町八ノ七九鐵道局員北村源治氏（三七）は前に元町一ノ七の李殷熙氏（三）は左胸部を強打し全治十日間を要する打撲傷を負ひ十數名も輕微な擦過傷を加へた。電車の損害二百五十圓なほ負傷者の治療代で京仁貨物と京電側で紛爭し龍山署で取調べ中である

春・四月のスナップ

（右上）モダン男 伊達（京城競馬）

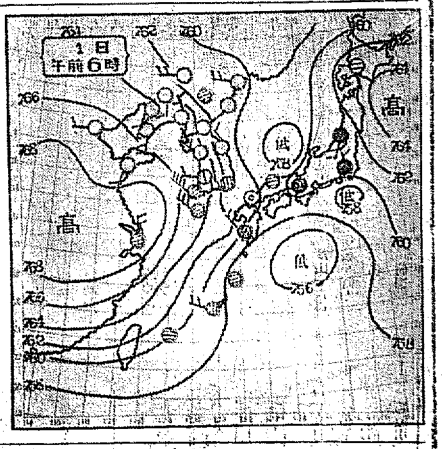
賑ふ昌慶苑の春（下） 樂しい町のスケッチ 父ちやんに…母ちやんに…お友達に…それぐくにむつましいステップです

上海で捕はる
統營金組の拐帯犯人

【統營特電】統營金融組合八千圓拐帯犯人徐某は長崎を經て上海へ上陸したところを逮捕された四五日中に押送される筈

溺死體流れる

一日午前七時頃京城府麻浦漢江觀測所に五十歳位の朝鮮人男の溺死體が漂着した、龍山署で檢視したが身元其他不明



函館大火の死者 千九百十名
けふまでに判明した總數 傳染病患者は割合に少ない

【函館電話】一日正午までに判明した燒死、溺死、凍死者は合計千九百十二名に達したが同日正午現在までにおける引取人なき死體は第一、第二、第三收容所を通じて合計七百五十五名あり、また四月一日現在における傳染病患者は猩紅熱九、ヂフテリヤ十二、腸チフス二名である

漢江を流れる 白い着物の死體
下流一帶で死體探し

京城太平通二の三〇七向井時雄氏經營人木次辰五郎氏（三）は一日午前十一時漢江にボートを浮かべ第一人道橋に向つた處上流から白の上衣に黒バッチのあふむけになつた溺死體がボートにぶつかつたので本町署に屆け出た、龍山署で死體を探してゐる

あすの天氣（2）

一日の概況

高氣壓は黄河揚子江流域及本邦東方海上にあつてそれぐ七六八粍及七六四粍を示し、低氣壓は北海道東部に挾まれて南北に細り黒龍江下流に七五六粍、山陰沖に七五八粍及伊豆島沖と八丈島北方沖に七五六粍及七五八粍のものがあつてこの兩者は不連續線で結ばれてゐる、天氣は上海は曇、その他の支那、滿洲は晴、朝鮮も南鮮の沿岸が曇り勝ちの外は好晴となつて居る氣温は釜山、大邱が平年並の外は一般に三乃至四度平年より低くなつて居る、内地は概ね陰惡な天氣となり四國近畿中部及關東地方に雨り降雨して居る

あすの豫想

揚子江域の高氣壓は東進して半島を覆ひ、別に低氣壓發生の模樣もないので明日は半島一帶に天氣良き見込みであるが近くなると北西部から曇つて來るだらう

京城 晴一時曇

追つ拂ふ陣立
京城から『あばた』を さあ種痘をなさい

京城府の春季種痘は一日から府内卅餘ヶ所で行はれる、例年種痘を受けない人がかなり多く昨年は要種痘者四萬六千八百六十七名の内接種者は二萬五千三百五十二名、種痘を受けないものが二萬一千五百十五名もあつて痘瘡は絶える間がなかつた、しかも昨春の天然痘患者は此の種痘を怠つた者が大部分であつた事實に鑑み、今年は定期種痘の義務を怠りし保護者には種痘令に基き遠慮なく處罰を斷行する事になつた

おみやげには 松の實飴

越前守を待つ 犬のお裁き
一頭の迷ふセパードをめぐる二人の主人公

名犬セパードの失踪に端を發して拾ひ主が落し主を探す廣告を出したばつかりに、犬の主人公と稱する男が二人も飛び出して、とんだ犬の爭奪戰—京城通義洞八長野銀九郎さん方へ去る三月廿五日ひよつくり一頭のセパードの迷子が舞ひ込んだ、銀九郎さんは犬好き、すつかり犬もなついて來たが、いつ迄も自分の家におくわけにゆかず、新聞廣告で落し主をさがすと二十九日朝鮮の紳士が來て「これは私のものに間違ひない」といふので渡したら翌日犬は歸つて來た處へ、また紳士が現れたところワン公は白紳士人にほえかゝるしまつ、でもつれて歸つた翌日、またも主人公と稱する第二の人がやつて來たのでさきの犬の主人宅に行くと、尾を振つて出迎へた

そこで第二の主人（鍾路關係）は朝鮮の紳士に返還を求めたが紳士は頑強に手を振つて肯かず、圖に『では私の家に犬をつれて行つて下さい、この犬は自分の仕込みで家の廻りにある畑の上を歩るかして見せる、その他の色々の御覧に入れる』といふが紳士はどうしても手放さぬので相手の頑強態度に困り扱いた圓官さんは『ではよろしい、私がけしかけてこの犬にあなたの畑に踏みつかせて見せる』と最後手段に出たので流石の紳士も顔色が變り『それには及ばぬ、では持參へ……』話がきまり三十一日願濟へ……

競馬に大穴
當つた二百圓—二日目

京城春季競馬第二日目の一日は前夜來の雨も名殘りなく晴れ春陽麗々とてり輝き西南の風はあるが絶好の競馬日和に加へて日曜日のこととて早朝から人出多くすでに第一競馬では番狂はせが出るなど興味を集めてゐた

◇一回 半血馬 千八百米 十二頭立 1キンスイ（池ノ平）二分四秒 2キンザン（劍田）半馬身 3シソンミホ（平田）二馬半（單）二百圓（複）1六十二圓2四十五圓3二十八圓五十錢

◇二回 本供新抽 千八百米 七頭立 1セイフウ（稲岡）二分六秒2 2コウフウ（奥村）二馬身 3シマ（劍田）半馬身（單）三十二圓（複）1二十八圓2五十九圓五十錢

◇三回 他供抽新 二千米 六頭立 1キリン（稲西）二分二秒五分 2ゴーシユウ（稲任）一馬身 3リンプウ（走頭石）五馬身（單）廿七圓（複）1廿三圓2卅四圓五十錢

◇四回 古呼馬 千八百米 七頭立 1アルバイト（奥村）二分二秒五分 2アカシ（池ノ平）半馬身 3ヒフミ（稲任）二馬身（單）五十圓（複）1三十一圓2四十圓

四月馬鹿 嘘つきデー
消防署にいたづら

一日午前十時四十五分京城消防署に府北阿峴町から火災だとの電話がかけつたので、ソレッとばかりに自動車三臺が現場にかけつけたが火災どころか火の氣もない、消防署員一同ブツくく不平をいひながら本署に引あげた、本町署はいかにけふが四月一日（エープリル・フール）だからといつてもあまりにふざけ過ぎるといふのでこの惡戯ものを偵探中

函館火災義捐金

四月一日午後二時迄本社扱分

一金參拾圓也 朝鮮火藥銃砲會社共濟會
一金貳拾圓也 京城授の會々員一同
一金三圓也 石丸彦

日計一金五拾參圓也
累計一金參千壹百參拾九圓拾九錢也

群山の演藝大會

【群山】同業群山日報社では料理屋組合後援のもとに恒例の春季演藝大會を一、二の兩日群山劇場で開催

櫻井町公園東五丁目 櫻ヶ丘住宅地 即賣又ハ年賦賣 京城東拓内 朝鮮都市經營株式會社 電本三一八一五番

世界一の ミルコ 營養菓子

業務擴張大奉仕 總額五萬圓贈呈 ビーナス ポータブル 貳千名樣へ 一臺宛 無代贈呈
申込規定 贈呈品 定價貳拾五圓 ビーナス商會 電話浪花五七六六

銘茶 茶袋 卸と小賣

京城本町五丁目三六 滿元園茶舗 電話本局一〇〇七番

朝鮮おみやげ 海市商會

正式 國旗 大久保廣徽國旗部

百圓を千圓に殖す秘訣 大黒屋

軟式野球用品各種入荷 ミツト グローブ バツト 服裝類 京城府南大門通四丁目六七番地 京城運動具商會 電話本局一〇一四番

外科 植村病院 京城永樂町二丁目 院長醫學博士 植村俊二 副院長 河野武

ユアサ電池 自動車用・蓄電用・探險用 ラヂオ用・懐中用 オートバイ用 理化學試驗用 ランプ用 其他各種 陸軍用 海軍用 鐵道用 遞信用 代理店 京城府黄金町一ノ二〇六 城東電池商 電話本局四一八七番 振替京城一九五一七番

キリスト教のことは 京城新生會へ

當選御禮 今回仁川府會議員補欠選舉に際し不肖不圖も當選の榮を得候は偏に有權者各位の深甚なる御同情御後援の賜と深く感謝に堪へず茲に略儀乍ら紙上を以て御厚禮申述候敬具 昭和九年三月三十一日 生田鐵造

當選御禮 今回仁川府會議員補欠選舉に際し不肖不圖も當選の榮を得候は偏に有權者各位の深甚なる御同情御後援の賜と深く感謝に堪へず茲に略儀乍ら紙上を以て御厚禮申述候敬具 昭和九年三月三十一日 伴康衛

當選御禮 今回仁川府會議員補欠選舉に際し我等不圖も當選の榮を得候は偏に有權者各位の深甚なる御同情御後援の賜と深く感謝に堪へず茲に略儀乍ら紙上を以て御厚禮申述候敬具 李舜恒 鄭旭鉉 金泰榮 金泰性

香料 製菓飲料水用 化粧品製造用 香水原液 着色料 染料 東華洋行

京日案内 特別案内 地圖と兵書 目錄送呈 京城練兵町 電竜五二〇 小林又七出張店
恩給 看護 毛糸 新聞 副業 下宿

轉向を誓つた者に 溫情溢るゝお裁き

朝鮮共産黨全北再建運動の大一味 四十二名に判決下る

【全州】既報＝朝鮮共産黨全北再建運動四十二名の判決言渡しは三十一日午前十一時荒巻裁判長、姜、高木陪席判事、松本檢事立會の上開廷されたが、敎員、學生勞働者等凡ゆる階級を網羅してをり從つて傍聽席は鮨詰めの有樣で物々しい警戒振りであつた。判決は轉向を誓つた者に對しては頗る溫情溢れ、去る二十四日の求刑に比し極めて寬大であつた、一味の判決は左の通り（括弧内は求刑）

懲役四年（五年）金敎杜、同三年六月（同）韓宗楠、同二年六月（三年）金圭錫、同鄭昌相、同二年（二年六月）金文王、同崔楷、同一年八月（二年）元鍾應、同一年六月（一年八月）張在煥、同崔月上、同李盛韶

（以下執行猶豫四ケ年）同一年六月尹布重、同朴福根、同李鍾萬、同金知成、同申彦眞、同一年四月（一年四月）韓濟根、同尹基煥同梁雲報、同鄭昀、同金炳倫、同金丁男、同梁基鍋同李三秀、（以下執行猶豫三ケ年）同一年（求刑一年）崔在必、同姜喜鎬、同辛南根、同林長萬、同白南哲、同朴內得、同朴魏植同趙容斗、同徐載閏、同韓德萬同金金鎭仲、同姜昌祐同十月（同）崔六得（以下執行猶豫二ケ年）同八月（八月）李炳哲、同宋苑彬、同宋福永、同徐相福、同韓良敏、同黄周吉（以上何れも未決拘留日數通算）

發言を拒まれ 憤然として退席

議場またもや騷然 大邱府會十一日目

【大邱】大邱府會十一日目は三十一日午前十時半から前日に引續き一委員會として開會正午より本會議になり議長の要求により高田委員は委員會を續行して進行させることになり長から全員委員會の報告をなすことになり歳入出共に多少の論議はあつたが府の現狀已むを得ないものとして原案を承認したが來年度の豫算編成に當つては課税の公平を充分考慮すると共に豫算執行に當つては出來得る限り節約されたい

と述べ討論者略採決の動議成立採決の結果第一號議案を原案通り可決した、この時武尾議員發言を求め議長これを許したが會議の日時がないのに議案と關係のない發言を何故許したかと全議員反對し議長途に發言を取り消したところ武尾議員色を變へて退席、議場また騷然となり午後零時十分散會した

金庫税と船税とは 釜山には惡税

辭表撤回の勸告は水の泡 委員會審議を終る

【釜山】朝鮮人側議員の連袂辭職によつて波瀾を捲起した釜山府會は卅一日午前十時半から開會、坂田副議長より昨夜來辭表提出議員と交渉を重ねた結果によつて翻意困難なる旨の經過報告があつて豫算案その他關係議案に對する議事は委員會を續行して進行させることに決して委員會を再開

前日に引續いて議案審議に入り牧の島渡津橋の完成によつて當然廢止さるべき渡船の營業に關し中村、竹内各議員より渡津橋完成後と雖も渡船營業權を高調し府理事者との間に押問答を重ねた結果委員會の決議として條件附きとなり松岡議員より松島海水浴場の經營質問、産業獎勵費中、中島大矢兩議員より家内工業獎勵費について質問に對し長事業係主任及び高橋商工係主任の說明があり次で漁撈場新設に關し中村高次、西條利八兩氏より風波被害に關聯して猛烈な原案反對の意見が提出され理水技師より圖上說明を行つて詳細に府計畫案の内容を說明山本榮吉氏の反對說賛成があり賛否の意見交錯の後漁撈場の新設計畫は質

會寧郡農會

羊毛の加工 工場を設置

【會寧】會寧郡農會では今回經費六千圓を投じ、新にホームスパン工場を創設することになり道内生産の羊毛を原料として大いに加工助成を促す計畫で既に機械其他の準備を進めてゐるが非常な期待を持たれてゐる

施設計を待つて決定することになつて一先づ原案通過に意見一致、その他在鄉軍人分會聯合會補助、青年團に對し海軍班の存在を無視するは不都合なりと松岡議員が横槍を入れ五議員の提議に基づき商學補助日五十圓の内より百圓を聯合分會に繰入れることに修正決定、六時休憩

二十分で再開、歳出全部を終つて議入に移り府が九年度より實施せんとする金庫税、船税に對し果然質問が集中され松岡、五島、竹下、山本、大矢各議員より、惡税額に過ぎ釜山の如き商工都市においては考慮を要すと大西財務課長との間に質問應酬が重ねられこの間松岡氏より惡税取消手數料の質問があつたが議場は依然として金庫税問題に引掛り府會は午後九時半委員會を終り豫算案全部を終了した

古刹の境内から 謎の素燒壺發掘

傳說を辿つて金塊を探し 思ひがけぬ掘出物

【平壤】府内東町一七松本友吉氏は順川郡隱仙面及舍人面地方に金塊が埋められてゐるとの傳說により昨年來心當りを發掘してゐたが三月初旬舍人面定國寺所有地域内で金五百斤と刻入してある碑石の如きものを發見、それによつて愈よ同寺境内に金塊を埋めたものと信じ發掘した處同七日同寺敷地内地下五尺の處から高さ一尺餘直徑八寸餘の素燒壺一個が現れた同寺は朝鮮に有名な寺で現在なほ建築三棟あり古刹であるが同寺を建築した年代等は全く不明なのでこの素燒は同寺の年代を知る一端となるのではないかとて順川警察署を通じて道學務課に鑑定を依賴して來た

東濱と西濱の工事起債確定す

荷揚場使用料で一揉め 群山府會幕を閉づ

【群山】府會（第八日）は廿九日午後一時から開會（出席廿一名缺席六名）會議に入るに先立ち東濱共同荷揚場上屋建築工事、鐵道引込線延引工事、西濱、海岸町埋立地鐵道引込線敷設工事費に充當する起債につき各委員會を開き何れも希望條件を附して認める旨を述べて委員會の報告あり質問省略可決確定更に全員委員附託議

原案には賛成であるが起債利率は高利に失すると思ふ是非六步以内で借入れられたい

西濱、海岸町埋立地鐵道引込線委員長黄富議員　事業遂行上本案は認めねばならぬが引込線は補助に俟つこと、起債利率は六分以下なる事に努力されたい

となつてゐた

府尙生院使用條例中廢止共同荷揚場使用條例、道路舗裝受益者條例、不動産買却特別取扱に關する條例設定を上程一讀會に返り牛尾委員長の委員會報告後二、三讀會を併せて議了

上田議員　荷揚場上屋使用料並使用期間について原案の不備を指摘し府方との間に押問答を續け府方の釋明も効なく上田議員讓らず除外なく休憩して懇談、三時半會開直ちに採決の結果荷揚場使用條例中異議なく共同荷揚場使用條例中改正を可決確定

道路受益擬について二、三質問あり、追加提出の山上町新道路より若松町高橋間築京町に通ずる道路開通の建議案を滿場一致可決これで諸條例改正設定の議案全部を議了し議長の挨拶に對し牛尾副議長の答辭があつて午後五時第二十二回府會を終了した

金組職員表彰

【大邱】慶北道内各金融組合では

三名の坑夫 瀕死の重傷

不發の爆藥が破裂 一名はつひに死亡

【平壤】廿九日午前八時頃府外大文山面所在内で採掘作業を行つた際不發であつた爆藥が爆發し附近で作業中であつた坑夫金斗鎭（三）林泰植（三）金道煥（三）は岩石の破片のため瀕死の重傷を負ふたが金道煥は同日午後八時五十分死亡した

大邱工補校

合格者發表

【大邱】大邱公立工業補習學校では四月中旬を期し職員が入學試驗を行ひ合格者の發表を行ふことになつたが十九組合で三十二名を發表することに決定した、内最高點は高靈金融組合の十九年である

合格者は左の二十五名

李時洪、姜潤昌、金鳳申、鄭夏洪、李相烈、崔思顯、松浦正治、許聲武、曉敎元、丁采雨、馬敏浚、吳在敦、陳實祚、白南龍、趙重敏、卓晩宗、河三龍、林景爕、徐載煥、金成夬、玄完植、姜斗乙

人の動き

▲金田步七十九聯隊長　卅日朝出迎東京分會事務視察一泊卅一日開城へ

▲石崎憲兵隊長（清州）神崎分會視察一泊卅一日出發

▲伊達正一君（慶州）同上

（圍碁本日休載）

地方版

大搖れの敎育界

三十一日附で一齊に發令 各道空前の大異動

慶尙南道

（新任地）（舊任地）（氏名）

新灣小長　法守普長　山下與平
井村普訓　密陽普訓　北川孝久
梁陽同　金河同　松尾理一
鳴石同　熊川同　川田政信
東萊第一同　日光同　南山清
龜浦同　龜山同　松本和
一運同　二運同　千野英男
民陽同　固城小　吉村謙一
南面小訓　―　岡野義道
東萊第一普訓　釜山高女敎諭　南崎良平
宜寧同　密陽同　芥田義盛
釜山高小　馬山商敎諭　東功
固城普　昌川同　財前正光
長有普　進永高小　西村克己
大邱普長　同取扱　徐仲根
大谷同　同　宋在根
鳴石同　同　梁潤何
嘉禮同　同　成峻鎬
上井同　同　金景錫
山内同　同　群科夏
大蓮同　同　孫得龍
双册同　同　黄凞奈
日光同　同　盧在旋
藥山同　同　河永洙
龜山同　同　朴三龍
一運同　同　姜元熙
神院同　同　李普才
京孩同

馬岩同　同　金又雄
古明同　同　李德平
双相同　同　李弘桂

【釜山】慶南では卅一日附で左の如く二百十三名の敎員異動を發表内新任校長四十八名が左記の如く任命された

（新任地）（舊任地）（氏名）

治爐普長　下二普長　飯沼優
路下同　大山同　吉田千代吉
大山同　咸陽同　村瀨保二郎
咸陽同　釜山鎭同　金島元政
釜山鎭同　牧之島同　古澤是治
牧之島同　釜山高小　中江資登
正東同　馬山普長　秦晋男
馬山同　邀榮同　片岡增太郎
邀榮同　彦陽同　副島儀一
彦陽同　咸安同　川上英一
咸安同　伽倻同　竹崎彰雄
伽倻同　進永同　竹内龍治
進永同　巨濟同　波多野覺藏
巨濟同　晋川同　杉山龍雲
晋川同　安義同　西川正己
安義同　新等同　紀寬良
新等同　水登同　森本讓助
水登同　釜山三小　北村佐太一
凡西同　生林普長　松尾重郎
生林同　二北同　渡邊松槿
二北同　龍見同　村山伊助
龍見同　凡西同　中岡信雄
東凱同　晋屯小長　古川三郎
晋屯小長　馬山小訓　梶原利人
法守普長　栢田普長　川口克己
栢田同　進禮小同　松下得禰
晉州第一普訓　京師卒　金分南
南富民同　同　三浦鳳津
牧島同　大邱卒　池相煥
淶西同　同　白萬斗
大峴同　平師卒　申集浩
加祚同　同　鄭華鎭
三興同　大邱師卒　薛甲秀
馬所同　平師卒　李漢均
咸陽同　大邱卒　尹成容
上南同　同　趙翊君
龜浦萬　同　劉翔子
河東同　釜山六小　清水美壽枝
三嘉普　釜山三小　木島犀
釜山第三　酒川普　成田應雄
釜山普　固昌同　田中健
富民同　釜山第六小　尾崎房子
南富民普長　釜山四小　神保誠征
文山普　釜山第二小　羽坂正元
上北同　釜山普　安部賢市
釜山第三小　統營普　德山操
統營普　釜山高小　正岡安美
機張普　山門普　岡田良雄
固城郡高小　良南普長　松重紋治
良南普　固城高小長　井口啓一
下二同　治爐同　伊藤駿治

全羅南道

【光州】全南では卅一日附で左の如く初等學校敎員の異動を發表

（新任）（舊任）（氏名）

光陽普訓　華井普長　梁吉承
華井普長　王小普長　鄭東洙
王谷同　木浦小訓　山中貞治
羅州普訓　都草普長　朴日俊
排禪普訓　務新同　鄭順晫
順天同　中面普長　梁元昌
中面普長　補助同　横田金一
長山同　鷹南同　小畠重右門
黒田同　大黒同　稻數茂
長興普訓　黒山普訓　朴銀暉
康津同　黒山普長　申衡變
谷城同　長山普長　姜永珏
黒山同　光霊訓　安今同
大徳普長　孫佛訓　金仁柱
孫佛訓　木浦同　田中四郎
東化同　林谷同　坂田寅
林谷同　靈光同　後藤田艮金
四街普長　光州普訓　島作金二
茶道同　榮山浦同　近藤治枝
榮山普訓　光州小訓　佐藤忠雄
都天同　榮谷同　呂長水
石府同　濟石同　梁斗煥
四街同　金城同　金容海
城山普訓　昇師訓　辛徹洙
石橋同　榮山普訓　鄭德萬
于果同　猫坊同　金洪吉
長興同　高興同　申英玉
望雲同　望雲同　名倉邦造人
長城同　長興同　樋井君誠
東山同　鎭州同　金鍾孝
巨文普　巨文同　鄭成烈
濟岩同　杜川同　金判南
求禮同　　山口

鶴山同　道岩同　宋小岩
三道同　咸平農業　小波津平三
月坪同　光州普　韓次順
光州第一普　珍島普　金順姫
松汀小訓　光州小訓　蘇原みかは
光州小訓　松汀小訓　牟田和子
松汀同　咸平同　與川圭計
咸平同　松汀同　鈴木盛夫
右水營普訓　水池小訓　大下重蔵
榮山同　安佐同　文斗鳳
安佐同　谷城同　金洙贊
長城同　四街同　鄭麟鳳
珍島普訓　新　崔恩福
光州小訓　新　黒澤義光
水北小訓　光陽　山崎延子
光陽小訓　京師　佐野靜江

慶尙北道

【大邱】慶北敎育界の異動は三十一日附で發令されたが、なほ同日附で警察界の異動も發表された

◇小學校長

（舊任地）（氏名）（新任地）

慶州　關川德美　大邱本町
新任地　岩武思治　慶州
◇普通學校長
大邱女子　小巢知　大邱鳳山
大邱本町　平野五市　大邱女子
大邱鳳山　熊武光三郎　栄州
咸昌　有村正潤　咸昌
永川　中根保芳　永川
浦項　光田雄一　浦道
牙浦　杉茂　牙浦
安康　松永壽雄　安康
比安　二瓶一　遮城
倭館　柳原八十一　倭館
慶山　高野立三郎　比安
珍良　醍野勝彦　慶山
山城　栗原眞一　茶山
大邱　山下秀八　慶州
秀八　姜在玉　山城
◇小學校長より普通學校長へ
相源　杉本昇　東村
順興　小野丁作　浦道
安東　安鳩谿良　玄風

◇小學校訓導より小學校長に
東村　細田志一　大邱鳳山
琴道　松田三六　大邱壽
玄風　井上重晴　金泉
清道　多田鉄治　九龍浦
安康　宅間梓　慶州
青松　中島靜　浦道
義城　生野詩人　大邱壽
河陽　八坂傑　大邱本町
◇普通學校訓導より小學校長に
高靈　菊川正勝　開慶
毛良　小西春雄　醴泉
榮州　竹原良平　咸昌
◇普通學校訓導より普通學校長へ
神光　赤木千里　浦項
論工　有馬慶治　大邱壽昌
倭西　伊藤勝治　豐基
醴泉　島崎聖貫　安溪
小川　佐藤熊太郎　安東
府南　鈴木重豐　高靈
知品　上田政之　永川
竹南　真木二雄　尙州
開津　内田重郎　大邱
◇小學校訓導より普通學校長へ
茶山　生駒見次　大邱本町
榆川　山木五郎　大邱鳳山
山城　片淵時雨一郎　井浦
西後　寺畑弘　安東
加恩　山口林一　金泉
◇普通學校訓導より小學校長に
大邱高　宮嶋きぬゑ　大邱女普
大邱壽　太山一江　大邱高
大邱壽　中根春子　金泉
金泉　今井甚吉　大邱鳳山町
大邱鳳山大谷　若子　晋山
同　坂下和枝　咸昌
◇小學校訓導より普通學校訓導
大邱女普　宮野キツ　大邱壽
安東　黒岩富美子　大邱壽
達城　田中チエコ　金泉
◇普通學校訓導
牛谷　黄孟達　小川
小川　蔡熙鎬　山北
山北　尹成甲　錦川
錦川　李浩聖　大邱壽昌
山北　呉相興　大邱壽昌
大邱女子　徐順子　慈城
尙州女普　金良培　大邱女子
遮城　金甫袋　牟西
押梁　金冠鎬　遮城

解顔　沈海鳳　鳳陵
上後　金遜龍　龍岩
龍岩　文官峻　化東
化東　趙台八　物野
物野　任承植　乃城
乃城　朴守澄　河渭
河渭　金鳳瀋　乃城
作保　吳鳳文　義興
比安　金東瑞　永川
孝令　全正圭　孝令
禮安　申來泰　義城
義城　朴淡相　禮安
新平　趙容周　安東
首比　金秉淳　龍陽
浦項　李鳳元　首泉
西後　金理沐　川北
仁同　八幡源三郎　寧海
寧海　元吉淵　迎河
迎河　金小勲　興海
興海　李主鎭　梁谷
一通　申圭龍　延日
興海　金有南　延日
志仁　細田金次郎　尙州女普
慈仁　朴龍　尙州
善山　鄭在元　善山
稚尾　金順奇　龍城
高靈　金宗德　安東
洛谷　姜小宗　開寧
尙州　金遵洸　尙州
開寧　金漢慶　牙浦
桃開　古木文定　古老
陽州　崔斗出　下西
下西　文銀岩　良洞
良洞　安常田　順興
順興　金水分　良洞
良洞　金泰根　浦平
孤陵　柳原美歐　上西
相浦　松本武男　安康
古村　安田錦　龍谷
梅田　金潤培　酒東
醴城　姜鳳晋　東谷
榮州　李西德　浦石
栄石　姜西德　芦石
鳳城　木村芳郁　洛東
化寧　李周基　中牟
東局　林春成　玄風
◇復職を命ず
知品　朴永錫　戶西
東郭　趙重國　甘城
牙浦　趙明寶　牙浦
洛東　金麟鐘　大邱谷
寧海　金達洙　山雲
東局　吳先順　海山
朴開祥　和睦

內東　金有傳　内東
戸西南　河淑中　永川
平恩　李連文　珍島
北安　祖泳文　伊西
龍城　趙尚鍋　高靈
鳳陽　姜用圭　西後
甘泉　河周亨　達城
孝令　金七國　良野
後湖　鄭金仁　外西
醴泉　林先文　加恩
古村　金炳國　玆山
豊北　徐七祚　西仁
化寧　姜玄錫　開城
果谷　金洪道　南山
安溪　金玉源　順城
◇普通學校長事務取扱より普通學校長に
清和　李裕萬　竹南
牛谷　金東旭　南山
府東　趙道萬　加恩
首比　李斗來　小川
◇普通學校長事務取扱を免ず
高靈　崔殷中　新安
金泉　徐永甲　高牙
玄風　金世澤　南城
安東　姜光乙　府南
開慶　宋世贊　西後
開山　金鎭均　齊山
尙州　徐朝乙　尙和
浦頂　金柄植　甘比
醴州　趙相献　知品
迎谷　吳相達　清道
迎德　李相爕　牛谷
公山　李鍾澤　牟西

安康　田中河城　安康
大邱　大邱壽昌　鄭東基　同
大邱鳳山　李日柄　日赤
洛東　鄭東旭　金良
延日　許華　金里
大邱壽昌　大邱本町　李南碩　同
洛東　鄭城
安康　宋洪
清道　崔安東　鄭城永
礼安　許海城　同
蓮浦　李城永　同
永川　徐川田
義城　李城
慶山　姜東安
安東　許東
清道　崔項安
大邱鳳山　郡田鉄太郎
大邱壽昌　韓正水　同
大邱鳳山　姜秀根
大邱　金學根

◇普通學校長事務取扱を免じ普通學校長に

安溪　金小川
大邱女子普　李金珍良
長興　金鍾王
浦項　丁九寶
浦洲　金相圭
東海　朴李準壽
典村　韓三鉉
豊基　韓基山
永川　李明朴
豊角　李李明
醴泉　韓炳
咸泉　朴李炳
漆谷　金容

成昌　申忠玉
中洞　安東斗
清州　安大男
洛東　郭大浚
開慶　白大進
尙州　金西
成州　韓李
義城　吉
大邱壽　三宅大二
大邱壽　久野次男
同　宋田末賓
同　平川末賓
同　坂井顯徳
同　梅沢
同　吉見
同　上田
同　西正三
同　浦山正治
同　入江慶治
同　山口總代之
同　管原敬
同　白濱茂雄
同　井上光夫
同　福田勝治
同　山中眞水
同　勝田一二
同　西田光男
同　神崎宗一
大邱本町　今井親雄
大邱壽　鈴木親
同　古賀武男
同　小關元勤治
金泉小　池部一
安東同　太田明
金泉小　武田恭一
咸昌小　金田ミチヲ
大邱鳳山町　河野壽
大邱　浦港武
金泉小　武田恒
古老　金
新平　金
竹北　徐
　花谷

平安北道

【新義州】平北初等學校長の異動は三十一日附で左の如く發表された

（新任）（現任）

慶山同　山　道洙
銀　尺　黄泰仁
東　魯　孫乙仁
才　山　金鈴雀

昌城普長　永田小長　文吾
永田同　義州同　鶴見喜義
義州小長　沙・普長　藤江眞八
沙・普長　戸洞普長　宮野昇
戸洞同　龜城小長　川司一明
鶴城小長　新義州小訓　中村佐代八
新義州小訓　泰川普訓　下村信一
泰川普訓　龜城小長　向井
龜城小長　新義州普訓　南谷勝
定州普　定州普訓　康郎
楚山農　楚山農　下平義
渭原小長　新義州普訓　鈴木吉勝
新義州小訓　新義州普訓　青山アヤ
龍岩浦普訓　龍岩浦小訓　添木ミスエ
龍川小訓　龍岩浦普訓　佐藤正平
北下洞普訓　大坪イツ子
東興小訓　昌城小訓　橋口リキエ
昌城小長　昌城小長　橋口貫一郎
新義州普　新義州小普山之口　管夫
義州普訓　木原敎員　韓東植
慈城普訓　郷校卒　韓東燦
松長同　女師卒　洪潭
松江同　師師卒　徐文
泰川同　師範卒　金實行
江東同　講修　方慶國
方峴同　方峴普訓　劉國
泉洞同　女師卒　金深
球場同　女師卒　李深澤
雲山同　師範卒　金宋
定州同　講修　金宋柱
郭山同　同　李興周
德川同　女師卒　長井精
楚山同　同　李大孝
車輦館同　女師卒　崔君一
東萊同　講修　黄念九
楚西同　同　金東道
鐵山同　郭山普訓　林明俊
南山普訓　講修　金泉鈴
吉北同　女師卒　金泰
北同　尊修　金長浚
雲山同　女師卒　金銀
南同　敎員卒　金振
北同　青普訓　金錫頗

江界同　女師卒　鄭道植
昌城同　同　李晃錦
楚山同　講修　李載圭
南面同　女師卒　金鳳
滿浦同　講修　李長源
江西同　女師卒　許化
南同　同　李長
南市同　南市普訓　李化
水豐同　同　金泰植
古陽同　古陽普訓　鄭道元
武坪同　同　成泰韓
龍陽同　講修　朴泰均
碧潼同　龍潼普訓　崔宗烈
七坪同　七坪同　車雲順
楚山普訓　楚山普訓　金洛浩
塀松同　同　金永浩
江界同　同　許永奎
北同　江界普訓　李永安
渭原同　渭原普訓　朱台泰
宣川同　宣川普訓　朱蒼宗
同　同　李春龍
同　講修　金相文
大館同　同　金蒼文
泰川同　水山普訓　李仁京
義州　同　姜鎬
同　同　金
同　　高橋一郎
同　　松井

咸南辭令

郡屬（咸興郡庶務主任）　神崎次郎
命利原郡庶務主任　朱錫槙
命定平郡庶務主任　朱錫南
命文川郡在勤　韓經鎬
命咸州郡在勤　高橋紫
命咸興郡在勤（任）　瀧洲波
命北靑郡大同長
道屬　松井多七
命洪原郡庶務主任　高橋一郎
補興南公立高女敎諭　小川小次郎
補興南公立女敎諭兼興南學校長

生活の虹 (89)

菊池寛 作
志村立美 畫

妹と妹 (五)

綾子が、千尋に連れられて、隣れの病室には入つた時、老いた病人の口は、もう酸素吸入器が當てられてゐた。

電燈は、暗い掩ひを着せられて室内は薄暗く、二人の看護婦と主治醫とが、枕頭を取り圍んで居り近親の人達も、五、六人ばかり詰めてゐた。

千尋は、部屋へは入ると、すぐ父の耳に口を寄せて云つた。

『お父さん、如何ですか』

父は、もう意識の殆んど無くなつた眼を、ヂッと凝しながら、それでも千尋の聲は、分つたらしい表情をした。

『僕の申し上げることが分りますか。』

病人は、分る、と云ふことを云はうとして、口をうごかしかけたが、それはかすかなうめき聲に終つてしまつた。

病人に、意識があることを確めると、千尋は醫者と看護婦とに云つた。

『一寸だ申しかねますが、ホンの、しばらく遠慮して頂けないでせうか』

『はあ』

醫者と看護婦は、うなづいて部屋を出て行つた。

父と綾子との初對面を、醫者や看護婦の前では、やりたくなかつたのである。親類の人達も二、三人續いて出た。

『私達も出ませうか』

父の妹に當る佐山男爵夫人が云つた。

『いや、叔母さんには、證人になつて頂かう。ねえ、叔母さん！』

と、千尋はその時まで、病室の入口で、モジモジしてゐた綾子をさし招きながら、

『これは、父の子です。つまり、僕の妹なのです。二、三日前から父に頼まれてやつと探し當てたのです！』

と、紹介した。

『まあ！』

佐山夫人は、驚きの叫びを低く上げながら眼をみはつた。しかしその眸の中には、非難の色はうごいてゐなかつた。

綾子は、輕くなつて頭を下げた。

『典子は居ないでせうか。今、典子とも會はして置きたいんですが』

と、千尋は云つた。

『典子さんは、四時頃、出かけたさうですよ』

と、佐山夫人は答へた。

『馬鹿な奴だな！ 今日一日位居ればよいのに！』

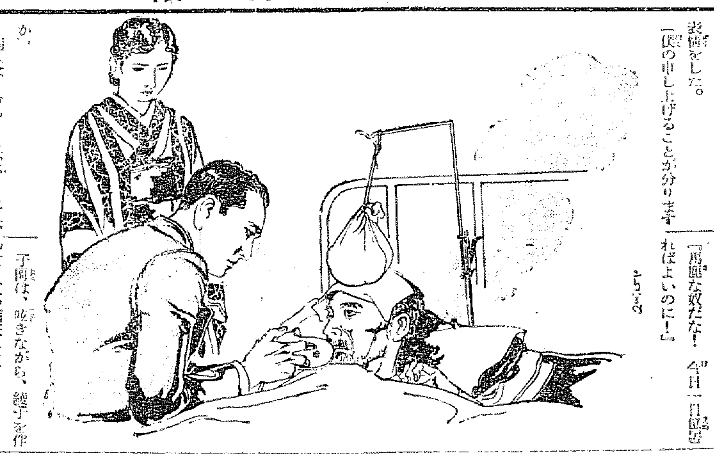
千尋は、呟きながら、綾子を伴つて、父の病床に近づいた。

そして、看護婦の殘して置いた酸素吸入器を、父の口に當てながら、

『お父さん！ お話の妹を連れて參りましたよ。玉香さんと云ふ人の子です。妹です、お父さん。僕が、出來る丈、可愛がつてやることにしますよ。お父さん』

千尋は、父の耳もとに出來る丈口を寄せて叫んだ。

口邊に、死の知らせであるチアノーゼが出來かゝつて居たにも拘らず、父の顔は急に、生命の最後の火花を散らすやうに輝いて見えた。



JODK けふの番組 二日(月)

第一放送

午前七時〇分（東）ラヂオ體操
同一〇時 氣象通報
同一一時五分 料理獻立、日用品値段、鮮魚卸相場
〃 放送時、水產市場發表
正午 時報、今日のプログラム發表
午後零時五分 浪曲 映畫と春 南 敏夫 管絃樂伴奏
同零時四〇分 ニュース
同一時 趣味講座 畫家の見た南洋 多田 毅三
同四時 ニュース、職業紹介事項
同四時（大）全國選拔中等學校野球大會試合實況（第一放送に依る）—甲子園野球場より中繼
同六時 講演 記念植樹に就て 朝鮮總督府林業試驗場長 林學博士 鏑木 德二
同六時二〇分（東）コドモの新聞 村岡 花子
同六時三〇分（東、大、名）三都對局新進將棋選拔將棋大手合 棋士（東京）五段 坂口 允彥（大阪）五段 大野 源一（名古屋）五段 加藤治郎 解說（東京）八段 木村 義雄
同七時 ニュース、天氣豫報
同七時三〇分（東）講演 農林大臣 後藤 文夫
同八時（東）ラヂオ風景 山の四季 岡本一平作 第一景 吉野の春 第二景 御嶽の夏 第三景 秋の富士五湖 第四景 妙高の冬
【出演】汐見 洋 和田 道郎 東屋 三郎 佐伯 秀男 小杉 義男 西川 秀男 藤輪 欣司 小野 松枝 小田 信 白川 とし 菱刈 高男 堀越 節子 日升 友三 毛利 菊枝

愛林の夕

同九時三〇分（東）時報、ニュース、氣象通報、翌日のプログラム發表
小松健一 女子放送合唱團

第二放送

午後〇・〇五 俗謠 朴 山 紅
同一・〇〇 趣味講座（一） 李 泰 俊
同六・〇〇 童話 延禧協成主日學校
同六・二五 產業、ニュース
同七・三〇 記念講演 金 東 勳
同八・〇〇 民謠と流行歌——長谷川町公會堂より中繼——
同九・〇〇 唱劇調 朱 蘭 香

趣味講座 午後一時 畫家の見た南洋 多田毅三

朝鮮から熱帶の國を思へば如何にも遠い距離のへだゝりがあるやうであり、風物や氣候などの相違からしても甚だ遠い所へ行くやうな感じがしましたが、その實裏南洋の旅などは東京府の一部を廻る位に思つたらいゝだらうと思ひます。然し諸家の生活に觸して見ると此のわずかな旅にも限りないよろこびがあります

朝鮮の人が裏南洋に三百人近くも居る由で、中には二十年も住んでゐる人と會ひました。又サイパン島に朝鮮人親睦會事務所といふ看板を見ました

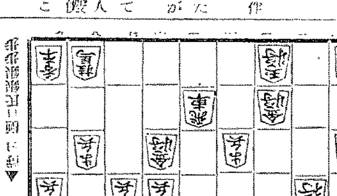
講演 午後六時 記念植樹に就いて

朝鮮總督府林業試驗場長 林學博士 鏑木德二

明三日神武天皇祭は第二十四回記念植樹日で總督府始め各道官民一齊に植樹を行ふこととなつてゐる此記念植樹は本邦に於ける嚆矢で昨年迄の植栽本數は全鮮合計二億九千餘萬本に達し參加人員は千百二十萬の多きに及んでゐる。朝鮮の綠化は各種產業及び國民保健の基調であり、植樹そのものは林業家の獨占すべきものでなく國民全部の共同義務であり、又權利でもある。記念植樹は併合記念として制定されたが、愛國思想、林業知識を涵吹し、全鮮の山野都鄙を綠化して二千萬民衆の安寧と福利とを增進しやうとする國民運動の呼出に外ならぬと思ふ

將棋新手合 (六)

於東京市日本橋區蠣殼町二ノ七 東京將棋所
（金子五七歩成立の局面）
平手 先手 ▲四段 樋口義雄（東京） 後手 △四段 梶 一郎（東京）



▼指手（前回より續）▼ △持駒 梶氏 銀銀歩

△二四桂 ▲六七と △同 金 ▲五八飛成 △六八銀 ▲五六銀
△三二桂成 ▲同 玉 △五七金打 ▲六七銀成 △同 金 ▲五六銀
△七七玉 ▲六七銀成 △同 銀 ▲八五桂 △八六玉 ▲六七龍
△三三銀 ▲同 玉 △五一角 ▲四一銀迄にて樋口氏の勝

（溝呂木七段講評）（先手）二四桂と敵角を取るのは少々無理である、茲は敵の五七歩成を同金ョル、四八銀、六七金ョル、三九銀不成、二四桂と敵角を取れば飛角交換で敵に銀を使はしただけに苦鬪する餘地がある

（後手）五六銀と打ち、敵に金の受け駒がないのを讀み切つた强い攻めである

（先手）七七玉と早逃げするのは、此の場合已むを得ない手である

（後手）六七銀と攻めて、八五桂と敵玉を釣り上げるのは自玉に直詰みがないだけ順當の攻めである

（總評）本局は、後手方最初に相掛り戰を避け三二金と上つて三三角の力戰鬪術を採つたのを先手方は三三角を同角と交換する手段を避け、四八銀よりの穩和策を採つたのはよかつたが後手が中央から挑戰するのを五八金と防禦したのは甚だ面白くなかつた、茲は當然九八飛と廻つて臨戰すべきであつた、而して後手方は九筋に位を占めるや、持久戰策を圖つたのは當然であるが、先手方は五筋の位を占めたのは面白くなかつた、續いて敵の三三玉よりの歩を早く切るべきを、五五歩と突いたのは見落しであつた、此の一手の爲め後手に、四五桂の强手を一本さされて全く見込のない棋局となつて了つた、終盤に於いて先手が四五歩と突き捨て決戰策を採つたのは已むを得なかつたが、敵の五七歩成に對し二四桂と敵角を取つたので、敵に六七とから五八飛と成り込まれては絕望の棋となり遂に大敗を招いたのは當然であつた

新刊紹介

●思想千秋（小西重直著）教育本質論の發展、教育の本質と勞作、教育刷新に就て、ペスタロッチの人格とその思想等の各項目に分つて論を進めてゐる。時々の精神力は甚だ微弱である、私の自己反省のためにもと思ひ最近の論文講演などの中から數篇を選んだと著者は謙遜してゐる（一圓 京都市上京區河原町通丸太町南 金港堂書店）

●商工經營要論 最近發達せる經營經濟上の諸問題に就て商工經營を中心として平易な解說を試みたのが本書である。初學者にとり一般的入門書又は參考書として歡迎されるであらう。向井鹿松、鈴木保良兩氏の共著にかゝる（一圓七十錢、東京市神田區神保町一丁目一番地 同文館）

●經濟市況の全知識（安達太郎著）經濟市況といへば直に投機業者を對象とするものと妄斷し之に接近することを危惧する向が多い、從つて經濟、商業の學を專修した者でも新聞の商況記事を讀んで之を咀嚼する事が出來ないのは當然である。又ラヂオの經濟市況を聞いても要領を得ないと言ふ實情である。本書はその弊を救ふべく出版されたもので市場取引用語の解說、相場表の見方、商況記事の讀方、ラヂオの經濟の市況の聽き方等を親切に說いてある（一圓二十錢、東京市小石川區音羽町六の二〇 商況研究會）

●外人の觀たる日本國民性 明治維新前、明治年間、大正以後に渡來した各國外人の觀た日本人觀を採録、また全然日本に來た事のない人の意見も載せてある、之らの人々の日本人觀は敬訓的なものもあり、痛い所を鋭くきめつけられたものもあり、微笑ましいものもある、勿論全部がよい參考になるが、それよりも一層一つの讀物として知らず識らずのうちに讀破出來る、さうして讀んでみながら之も日本の國民性かなあと微笑ましくなるのである（一圓五十錢、東京市神田區神保町一丁目三九 栗田書店）

演藝案內

浪花館
明治町一 電本三三〇
二十八日封切六日間絕對日延なし 超ゝ特別大興行！鑑古一切！ 來る！遂に來る！年間に亘る問題の作品、世界の七大スターを集めた總後の巨豪華版メトロが誇る唯一の傑作篇其の名、グランド・ホテル！
一、ニュース 一卷
二、メトロ特作發聲日本版 監督エドワード・セヂウヰック 主演バスター・キートン 助演ジミイ・デュラント氏 **キートンの麥酒王** 八卷
三、メトロ超々級豪華日本版 **グランドホテル** 十二卷 監督エドモンド・グールディング 作品 グレタ・ガルボ・ジョン・バリモア・ウオーレス・ビアリイ・ジョン・クロホード・ライオネル・バリモア・ルイズ・ストーン・ジーン・ハーショルト大共演
豫告 近日上映 ゆりかごの唄、晴夜行路

喜樂館（日活直營 電話五九七）
廿八日より春季特別興行
武道大鑑 片岡千惠藏 山田五十鈴 香川良介
維新暗流史 鐵假面

中央館（新興キネマ 電本三三〇）
ボウラ 山本冬郷 ハロルド・ノイス氏
僕の靑春 谷幹一 田村邦男
黑衣の處女 ドロテア・ウヰーク ヘルタ・テイーレ
首實り山左郎 監督 冨沢? 嵐寬壽郎 大熊?
赤い唇 松本泰輔 德川良子 主演

京龍館
肉體の神秘 四月一日より大公開
（大公開 小學生十錢）

大正館（松竹直營）
ゴリラ大陸
銀色夜叉
祖國を護る
省掛時次郎

朝日座（本町五丁目 電本三三六）
三月廿四日より 若手揃ひの **西鳩劇團** 來る

京城演藝館
鄕土藝術の粹

東亞俱樂部（キネマ 電本三三〇）
大利根の朝霧 阪東妻太郎
危機一髮
街の爆彈兒

博多大二〇加
入場料 午後六時開演

船舶出帆廣告

朝鮮郵船定期出帆（低廉船中食事附）
東京行 阪神・門司・大阪・名古屋・橫濱寄港
大阪行 博多・門司・阪神寄港
北名古屋行 武豐寄港
西大阪行 博多・下關・神戶
敦賀行 新潟・伏木・境經由

伏木七尾行 新潟延長
浦鹽行 城津・雄基寄港
注文津行 長箭・巨津・大浦
鹿兒島行 博多・長崎寄港
上海靑島行
靑島行 安東・大連寄港
大連行
日本郵船出帆
朝鮮郵船株式會社 京城南大門通り五ノ一 電話本局一九五番

北九州商船株式會社出帆廣告
釜山出帆（北九州商船釜山出張所）博多直航 毎日午前九時 對馬、壹岐、長崎行 毎五日午前拾時 比田勝、博多、下關行 毎三日午後六時
仁川出帆（代理店日鮮海運會社）大連直航 博多、唐津、相ノ浦、鹿兒島、三角、長崎行

新義州 安東出帆（代理店日鮮海運會社）
鎭南浦出帆（代理店日鮮海運會社）
大阪商船出帆
北鮮阪神 急行
北鮮臺灣行
大連內地直行
大連發
門司基隆直行
大阪商船株式會社京城出張所 電話本局二〇三〇番
國際運輸會社 仁川 慶田組 釜山 釜山商船組

朝鮮北海道大連線定期
嶋谷汽船出帆
仁川出帆 大連直行
裏日本、北海道、樺太行
鎭南浦出帆
群山出帆
木浦出帆
釜山出帆
浦項出帆
北海道北鮮線定期
雄基出帆
淸津出帆
城津出帆
西湖津出帆
興南出帆
元山出帆
日滿新捷路
嶋谷汽船株式會社仁川出張所 電話五〇番・一〇八番

仁川汽船 出帆豫告
仁川汽船株式會社
朝鮮汽船出帆廣告 仁川出帆 釜山出帆 木浦出帆

仁川出帆豫定
鮮航同盟會 仁川支部
阿波共同汽船出帆
威海衛、芝罘、大連行 利通號
威海衛、芝罘、大連行 共同丸
鎭南浦、大連、天津行 長山丸
代理店 野口商會

資生堂化粧品デー

平素の御愛用に報ゆる爲め——
期間中資生堂化粧品一圓御買上げ毎に抽籤にて洩れなく粗景呈上！
四月末日まで
全の販賣店にて 關西・朝鮮・臺灣
東京銀座 資生堂

京城唯一の山泉兼備の景勝遊園地
會席料理 廣間待合 貸別莊 旅館
龍鳳亭溫泉
府外鷺梁津道橋詰 電話龍山一三二六番

宮內省御用達
菊正宗
京城 前田商店
釜山 本嘉納釜山支店